

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	教科教育法（家庭）				授業形態	講義			
科目コード	750097	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	塚本 奈津子								ICT活用 ○
授業概要	本講義は、小学校の家庭科指導の在り方について学ぶことを目的とする。そのためにまず、知識や技能の習得だけではなく、生活を科学的に分析し、学んだことを生かして問題解決を図る探究的な実践力を培うという教科の特質を考える。次に、基本となる小学校学習指導要領に示されている家庭科の目標及び内容（A 家族・家庭生活、B 衣食住の生活、C 消費生活・環境）についての理解を図る。最後に、家庭科における問題解決的な学習の進め方について理解するために、学習指導案を作成し模擬授業を実施する。これらの活動を通し、実践的な教科指導力を身に付けることを目指している。担当する教員は、宮崎県小学校家庭科教育研究会の理事を長い期間務め、児童が興味・関心を持ち取り組める授業の指導者としての具体的な方法や最新の教科の情報を提示することができる。								
関連する科目	「家庭」を本授業の履修前に受講することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	講義はアクティブラーニング型で実施する。第1回～第9回は、講義の中で学生に質問する対話型の授業を展開する。第10回～第15回はグループワークで学習指導案を作成し、その後、自分たちで考えた問題解決的な学習の進め方について模擬授業を通して報告する。								
授業計画 【第1回】	第1回 オリエンテーション及び家庭科の全体像 家庭科学習の特質を、家庭生活における知識・技能、生活文化の創造と継承、生活の科学的認識の3つの観点でとらえることを学ぶ。								
授業計画 【第2回】	第2回 小学校家庭科の歴史と変換 戦後（1947年）から現在に到るまでの家庭科の歴史を、学習指導要領の内容の変化を参考に学ぶ。”								
授業計画 【第3回】	第3回 小学校家庭科の目標及び内容、年間指導計画や題材構成（学習指導計画）の工夫 学習指導要領における家庭科の目標と内容について学ぶ。また、授業を計画的に構成していく必要性について学ぶ。”								
授業計画 【第4回】	第4回 小学校家庭科の学習指導の工夫（授業形態、教材教具、評価） 家庭科の内容に対応したいろいろな授業の進め方について学ぶ。また、児童が興味・関心をもつような授業の工夫の仕方について具体例をあげて解説する。”								
授業計画 【第5回】	第5回 学習指導要領の内容分析と理解①「A 家族・家庭生活」 家庭生活の基盤である家族との関係を考え、よりよい家庭生活をつくるために児童ができることを考える。”								
授業計画 【第6回】	第6回 学習指導要領の内容分析と理解②「B 衣食住の生活」（食生活） 体に必要な栄養素とその働き、調理の基礎的事項を学ぶ。また、食育の必要性について資料をもとに考える。”								
授業計画 【第7回】	第7回 学習指導要領の内容分析と理解③「B 衣食住の生活」（衣生活） 衣服の働き、製作計画を立てることの必要性を学ぶ。また、基礎的な被服の技能の定着のために、手縫いによる簡単な製作をする。”								
授業計画 【第8回】	第8回 学習指導要領の内容分析と理解④「B 衣食住の生活」（住生活） 整理整頓や掃除の必要性、季節の変化に合わせた住まい方について考える。また、健康や環境との関わりに配慮した快適な住まい方の基礎的基本的な知識や技能を学ぶ。”								
授業計画 【第9回】	第9回 学習指導要領の内容分析と理解⑤「消費生活・環境」 消費生活と環境について、他の内容との関連を図るとともに、物の選び方について実践的な活動を通して学ぶ。”								
授業計画 【第10回】	第10回 学習指導案の作成①（題材の目標、指導観の前半） 基本的な学習指導案の作成の仕方を学ぶ。その際、学習指導要領の内容分析や教科書の内容分析を十分に行う重要性を学ぶ。”								

授業計画 【第11回】	第11回 学習指導案の作成②（指導観の後半、指導計画） 基本的な学習指導案の作成の仕方を学ぶ。その際、題材の全体像を確実に把握した上で指導計画を立てることの重要性を学ぶ。”
授業計画 【第12回】	第12回 学習指導案の作成③（本時の目標、学習指導過程） 基本的な学習指導案の作成の仕方を学ぶ。その際、授業の流れを問題解決型にした上で、主発問・資料・評価を検討していく。”
授業計画 【第13回】	第13回 模擬授業の準備 各グループで模擬授業のための準備をする。役割分担を決め、協力して授業を作り上げる。”
授業計画 【第14回】	第14回 模擬授業の実施①（前半のグループ） 各グループごとに模擬授業を実施し、参観者は問題解決型の流れ、発問の工夫、教材の開発の工夫等について感想を書く。また、実施した授業について解説を聞く。”
授業計画 【第15回】	第15回 模擬授業の実施②（後半のグループ）及びまとめ 各グループごとに模擬授業を実施し、参観者は問題解決型の流れ、発問の工夫、教材の開発の工夫等について感想を書く。また、実施した授業について解説を聞く。”
授業の到達目標	1 小学校学習指導要領の「家庭」の目標及び内容を理解している。【知識・理解】 2 小学校の家庭科学習を指導していく上での基礎的・基本的な知識を身につけている。【知識・理解】 3 家庭科の学習指導案を作成し、模擬授業を実施することにより、問題解決的な学習の進め方についての授業力を身につけている。【汎用的技能】 4 家庭や地域・社会とのつながりを考え、教科内容の背景となる学問領域を理解し、教師としての資質を高めようとしている。【態度・向上心】”
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	○ 学習指導要領及び教科書の指定された箇所を事前に熟読し、次回の講義内容を把握する。（20分程度）
授業時間外学習【復習】	○ 課題について2回レポートを作成する。（2時間程度） ○ 学習指導案を作成する。（2時間程度） ○ 模擬授業の打合せ及び準備のために、グループで話し合ったり教材教具を作成したりする。（2時間程度） ○ 授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。（毎回20分程度）”
課題に対する フィードバック	○ 作品及びレポートは、評価後、解説し返却する。 ○ 定期試験は、試験終了後に解説する。”
評価方法・基準	”以下の項目に基づいて評価する。 1) 定期試験－65点 2) 課題（作品1つ、レポート2つ）－15点 3) 学習指導案及び模擬授業－20点”
テキスト	”○ 小学校学習指導要領・家庭科編 ○ 「わたしたちの家庭科」（開隆堂）の教科書”
参考書	なし
備考	